

基本の編み方 1

1色のヤーンを使った
基本的な編み方をご紹介します。

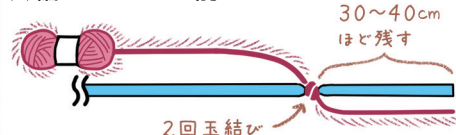
使用するもの

- ・ウルベヒヤーン (お好みの色) 1玉
- ・かぎ針 (6~7号) 1本
- ・グログラン (またはサテン) リボン 1.5ヤード (約140cm)
- ・クイナッツ 2個

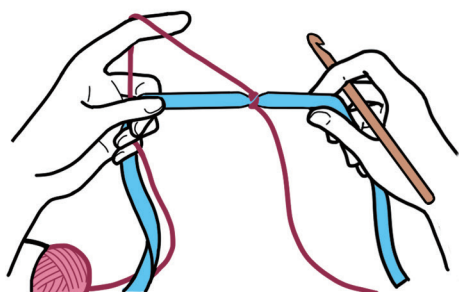
●ウッドクリップ、刺しゅう針があるとより便利です。

※手順を分かりやすくするため、①~⑩のイラストはストレートヤーンで表現しています。

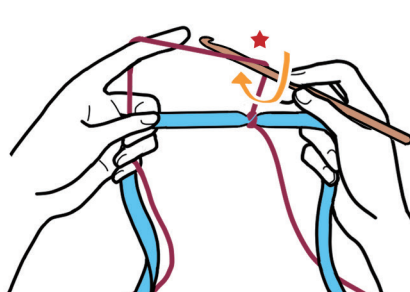
☆編みは始める前に



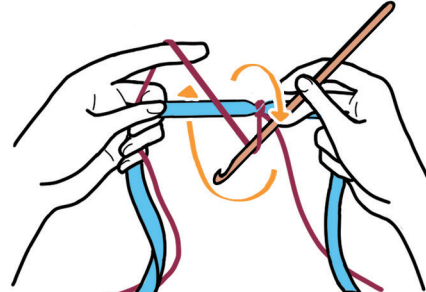
軸にするグログラン(サテン)リボンの、端から30~40cmの位置にヤーンを結びます。



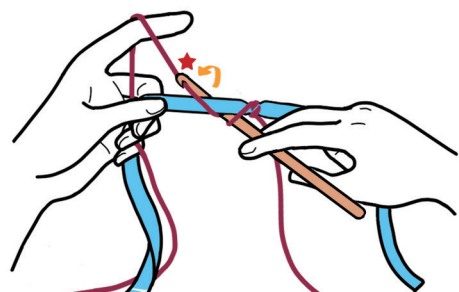
① 人差し指にヤーンをかけ、親指でリボンを押さえます。



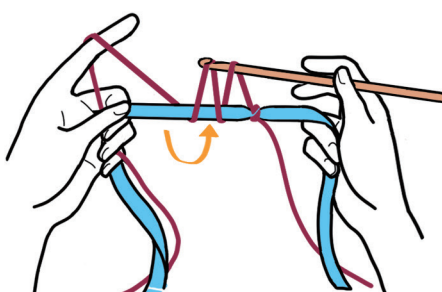
② ★のヤーンを、かぎ針で下からすくい取るようにして引っかけます。



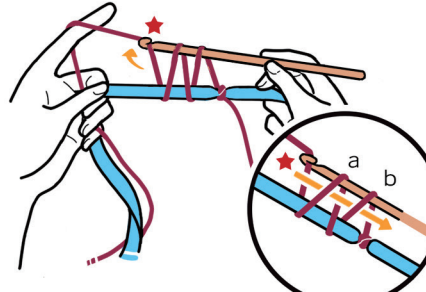
③ ヤーンを引っかけたかぎ針を、手前からリボンの下へくぐらせます。



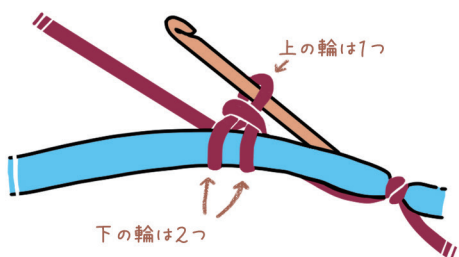
④ ★のヤーンにかぎ針を引っかけます。



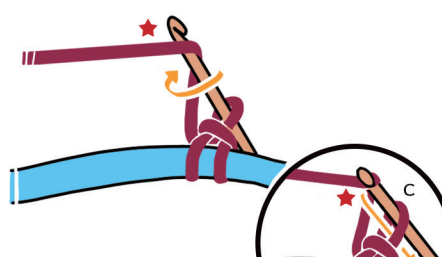
⑤ かぎ針をリボンの下にくぐらせ、すくい取るように手前に持ってきます。



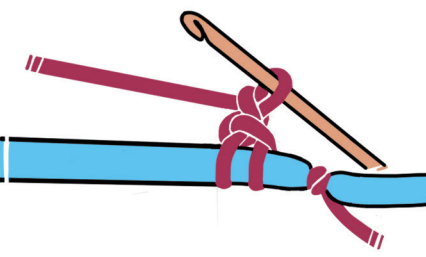
⑥ ★のヤーンをかぎ針に引っかけ、a, bの間から引き抜きます。



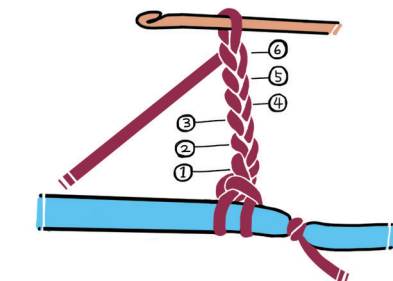
⑦ 編み始めができました。



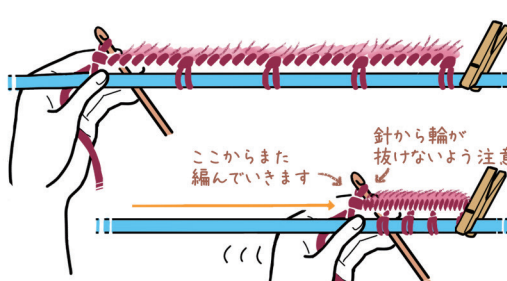
⑧ ★のヤーンを引っかけ、cの輪から引き抜きます。



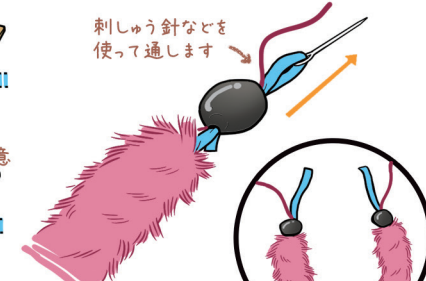
⑨ くさり編み1目が編めました。



⑩ ⑧を繰り返し、くさり編みを6目編みます。



⑪ ③~⑩を数回繰り返したら、編み始めをクリップなどで留め、全体をねじって寄せていきます。



⑫ 軸のリボンの残りが30~40cmのところまで進んだら、クイナッツを両端に通します。



⑬ ほどけないようにヤーンを結び、両端のリボンを蝶々結びにすれば完成です！

◀作成例:
ペリーミックス・グリッターのレイ

 PāuSkirtShop
パウスカートショップ

<http://www.pauskirtshop.jp/>

TEL/FAX 0254-22-6127

各種SNS  pauskirtshop  pauskirt



リボンロゼットレイの編み方 1 – リボンロゼットの編み方 –



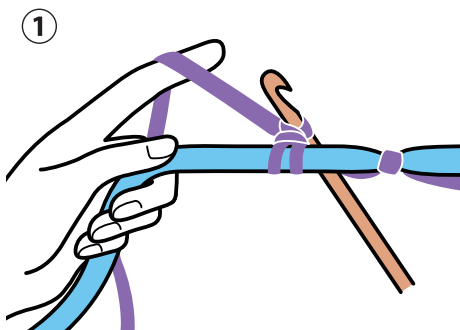
3色のサテンリボンでロゼット（花飾り）を編んでいき、フラワーガーデンのような華やかなレイを作ります。

使用するもの

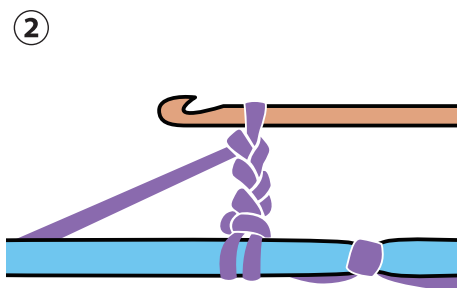
- サテンリボン 9mm・・・1 ロール ×3 色
- ウルベヒヤーン・・・1 玉
- グログランリボン（軸にするリボン）・・・1.5 ヤード
- ククイナツ・・・2 個

- かぎ針 5号（ロゼット用）・・・1 本
- かぎ針 2号（ヤーン用）・・・1 本

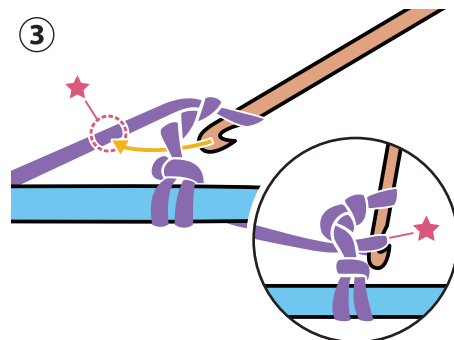
◆ウッドクリップがあるとより便利です。



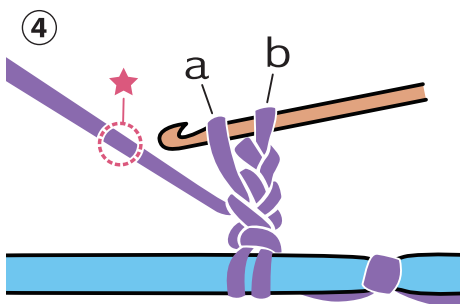
『基本の編み方 1』の手順①～⑦を参考に編みはじめをつくります。



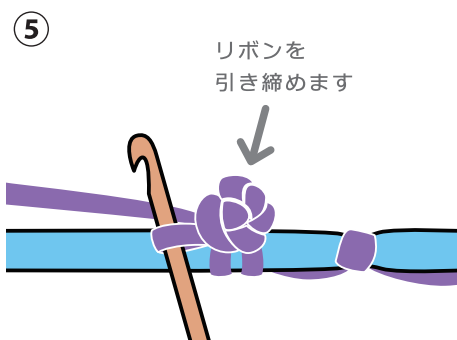
『基本の編み方 1』の手順⑧を参考にくさり編みを3目編みます。



針を1目の輪の中に通し、★部分のリボンを引っかけて1目の輪から引き抜きます。



★部分のリボンにかぎ針を引っ掛け、aとbそれぞれの輪の間から引き抜きます。



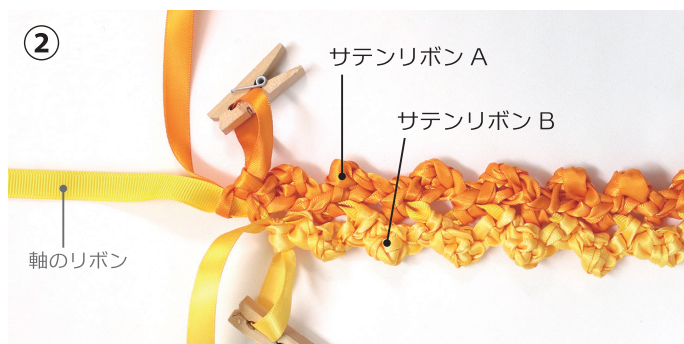
ロゼットが一つ編めました。

★レイ全体の編み方の流れについては「リボンロゼットレイの編み方 2」をご覧ください。

リボンロゼットレイの編み方2 - 全体の編み方 -



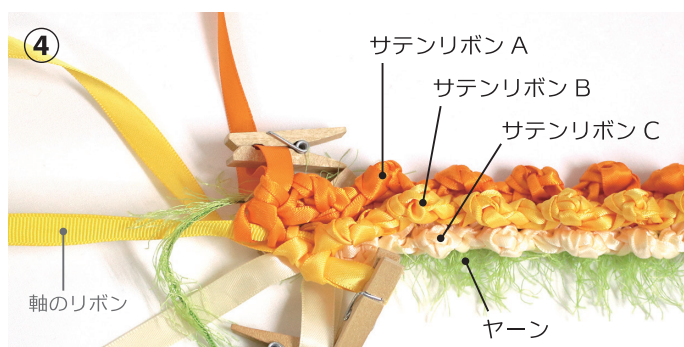
『リボンロゼットレイの編み方1』を参考に、サテンリボン A を数回編みます。



サテンリボン A の右隣から、編み目と編み目のループの間にサテンリボン B を編んでいきます。



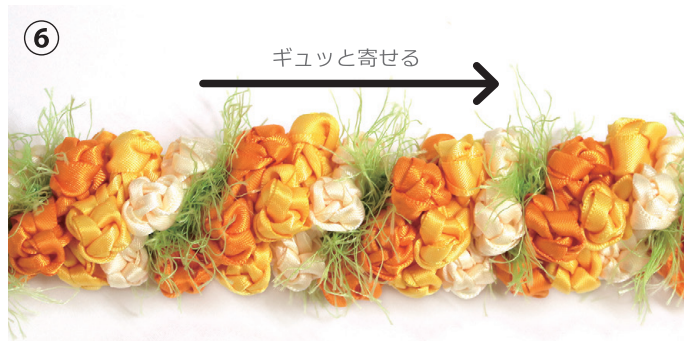
B の右隣から、②と同様に C を編んでいきます。



C の右隣から、②と同様にヤーンを編んでいきます。ヤーンは『基本の編み方1』を参考に、くさり編みを3目で編みます。
※"リコ・レフアのレイ"の場合はヤーンのくさり編みを6目で編みます。



①の編み終わりの位置まで編んだら全体をねじります。



編みはじめの方へ全体を寄せていきます。その後、①以降を繰り返します。



軸のリボンが残り30～40cmのところまで進んだら、リボンとヤーンをすべてクワイに通し、余分なサテンリボンとヤーンをカットします。通すのが難しい場合は、軸のリボンのみを通し残りはクワイの根本で結んでください。

■編む位置図解

